

令和5年度第2回気象庁入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年2月20日(火)気象庁会議室1	
委員	委員長 遠藤和義 (工学院大学教授)	委員 楠森啓太 (弁護士)
	委員 安田恵 (公認会計士)	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日	
契約の現状の説明等	入札・契約手続の運用状況等の報告	
総抽出案件	4件	〈備考〉
工事	一般競争	1件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	一般競争	0件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
物品・役務等	一般競争	3件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
1. 入札・契約手続の運用状況等の報告	
意見等なし	
2. 福岡空港気象ドップラーレーダー局舎解体工事（福岡管区気象台） 【工事、一般競争入札】	
<p>再度公告を行った理由が、「不完全な仕様書を入札参加希望者に提示したから」とのことだが、このような事態は頻繁に発生しているのか、また、このような事態が発生した場合の対応について、統一的な方針や規則は定められているのか。</p> <p>今後、同様の事態が発生しないとも限らないため、今回の対応が適切だったかを検証するとともに、統一的なルール化を検討した方がよいのではないか。</p>	<p>少なくとも近年においては、このような事態は発生していない。</p> <p>また、このような事態が発生した場合の対応についての統一的な方針や規則は存在しないが、公平性を考慮し、応札した全業者に事情を説明したうえで再度公告することが本件では適切であると判断した。</p> <p>再発防止に努めるとともに、ご指摘を踏まえて改善してまいりたい。</p>
3. 航空気象観測通報業務委託（札幌管区気象台、大阪管区気象台、福岡管区気象台） 【物品・役務等、一般競争入札】	
<p>各管区での入札の参加者の顔ぶれが似通っているが、本件入札参加資格を満たす業者は、概ね何社くらい存在するのか。</p> <p>昨今の物価上昇、人件費上昇が予定価格に反映されているのか。</p> <p>反映されていないために、今回のように再度入札を繰り返すという結果になったのではないか。</p> <p>人手不足などで社会全体が縮小傾向にある中で、今まで競争が成立していた入札案件であっても、今後も成立するとは限らない。</p> <p>当然、競争性を向上させる努力をする必要はあるが、それでも限界があるなら、競争ではない調達方法に変更するか、委託をやめて気象庁職員自らが実施することなども選択肢の一つではないか。</p>	<p>入札に参加するには、履行場所の各空港に観測員を配置でき、かつ、業務遂行上必要な知識やスキルをそれら観測員に教育し、管理する能力が求められるが、日本国内に具体的に何社あるかについては把握できていない。</p> <p>国土交通省が定める労務単価は毎年改定されており、予定価格の作成にあたっては最新の労務単価を用いているため、ご指摘の物価上昇、人件費上昇が反映された予定価格になっているものと認識している。</p> <p>仕様書自体が特定の事業者により働いていなくても、業務の性質上、既に必要な観測員を確保し、教育を終えている業者が次年度の入札でも有利になるという面は否めないため、当庁としても競争性をより向上させるための努力を続けるとともに、あらゆる選択肢を排除せず改善に取り組みたい。</p>

4. 電気の調達（気象研究所、気象衛星センター）

【物品・役務等、一般競争入札】

気象庁は大口の需要者なので、新電力など多くの供給者に入札に参加してもらい、少しでも安く電力を調達する努力をしてもらいたいが、何か、そのような取り組みを行っているか。

応札者によって、基本料金と従量料金のバランスが異なっている。落札者が提示したものが、本当に発注者にとって最も有利な料金バランスといえるのか。

予定使用量と実際の使用量に大きな差が生じると、シミュレーションどおりの結果にはならないので、実際の電力の使用状況を注視していつてもらいたい。

気象研究所では、事前に「発注予定情報」をホームページに掲載して、前広に周知するとともに、入札公告後は過去の応札業者等に公告が出ている旨を紹介している。

各応札者は、当庁が仕様書で明示した電力予定使用量を各自の基本料金、従量料金に当てはめて年間の料金をシミュレーションし、その結果（総額）を応札額として入札している。

開札の結果、落札者の応札額が最も安く、かつ予定価格の範囲内であったことから、各応札者のうち落札者のものが、発注者にとって最も有利な料金バランスであったと考えている。

今後も、予定使用量の策定にあたっては慎重を期すとともに、使用状況を注視してまいりたい。

5. 気象庁情報システム基盤(Ⅲ期)の製作及び借用(リース)・購入・取付調整・保守並びに運用支援（気象庁本庁）

【物品・役務等、一般競争入札】

意見招請に応じた業者が入札に参加せず、結果的に一者応札となっているが、彼らが参加しなかった理由を確認しているのか。

参加できる可能性のある業者がいたわけなので、その業者らが参加できるような工夫や努力が必要ではないか。

聞き取りを行ったところ、「他の受注案件と工期が重なり、稼働できる技術者の人数が足りない」ということであり、決して仕様書の内容が参加の障壁になったということではない。

今後も一者応札改善に向けて努力してまいりたい。

6. 審議の結果

直ちに是正を求めるような事案はなかった。

我々委員は入札の結果しか見ていないわけだが、外形的に書類をみただけでも、「受注している業者が適切である」、「全体としてコンプライアンスが遵守されている」ということが分かるようにすることも重要である。「何かおかしい」と思われぬように、自信を持って契約相手を決定したと主張できるようにしていただきたい。

また、複数者が入札に参加しているからよいというわけではなく、その競争には公平性がなければならないし、過度な競争によって本来の調達目的が阻害されるということがあってもならない。そのような事も考慮し、今後も適正公正な入札手続きを実施されるようお願いしたい。